



2025年 4 月 3 日 第2603回例会
4 月第 1 例会

RI会長テーマ:The Magic of Rotary
「ロータリーのマジック」

本年度会長テーマ
「始めよう 誰かのために」

「環境月間」

◆ 会長時間 ◆

前橋会長



今月は環境月間です。ロータリーでは温室効果ガスの排出削減、気候変動の影響を受ける生態系や地域社会への対応、環境を守る行動を促す教育支援など、環境に関わるさまざまな分野への取り組みや支援を行っています。例えば、ブラジルの最も貧しいといわれる地域では、小規模農家が収穫量を増やすために森林を伐採し農地を広げていますが、それは同時に自然破壊につながるものでもあります。そこで現地のロータリークラブでは有機農業と植林を同時に行うことで作物の収穫量を増やしながら、環境へも配慮した活動を行っています。

また、中南米グアテマラでは、今も多くの家庭で焚火での調理が行われています。焚火による調理は1時間で、たばこ400本分の煙を発生させるといわれています。室内に充満する煙によって肺炎などの健康被害はもちろん、環境に対しても影響を及ぼすことになります。世界では約30億人が今も薪や焚火による調理を行っているのです。世界数十億の家庭が燃やす火は、太陽光を吸収する黒色炭素（ブラックカーボン）の主な排出源ともいわれ、地球環境においては、モンスーンの周期を狂わせたり、氷河を溶かしたりと気候変動を加速させているとも言われています。そこで、ロータリーでは同じ薪を使用するにも効率的に燃焼させ、煙を屋外に排出できるコンロを1,000の家庭に提供しました。その効果は薪の必要性を70%減

らすとともに、室内の空気を改善させることにもなりました。またこのコンロの使用によって炭素の放出を年4トンから3トンに減らすと期待されています。

このように世界では環境に対してさまざまな活動が行われています。翻ってここ広島において環境問題について考えるとき、どんなアプローチが可能でしょうか。広島市による環境白書には、大気・水・土壌環境の保全とともに、自然と調和した都市の持続可能な発展など、さまざまなデータと取り組みが記されています。例えば広島市区域の3分の2を占める森林は所有者の高齢化によって手入れが行き届かず荒廃が進んでいます。荒廃した森林では環境保全機能が低下する為、森林の保全に取り組む必要があるのです。また、広島県は海洋プラスチックゴミの問題が深刻で、1年間に4,500トンが瀬戸内海に流れ込んでいます。海岸漂着量の多い主要3品目といわれるペットボトル、プラスチックボトル、食品包装材やレジ袋については2040年までに新たな流出をゼロにする目標が掲げられています。環境という切り口からはさまざまな分野へのアプローチが考えられます。単年度だけでなく、少し長い目で我々ロータリーから始められることを探してみてもはどうでしょうか。

● 卓話予告

日時	テ マ
4/17(木)	「オーケストラ指揮者からみた社会」 林 直之 氏

❏ 物故会員に黙祷

広島RC 大野 輝夫（おおの てるお） 会員
（株大野石油店 取締役相談役）が、3月25日（火）
にご逝去されましたので謹んでお知らせいたし
ます（享年95歳）。

● 会務報告 鈴木幹事

- ❏ 第2710地区ローターアクト奉仕デー at MAZDA
スタジアム ボランティア参加者募集のご案内
- ❏ 例会終了後、4階「アマリリス」において4
月定例理事会を開催いたしますので、理事会
メンバーは出席願います。

● 委員会報告

❏ プログラム・出席委員会

出席報告 大谷委員長

本 日（4月3日・木曜日）

会員数	90名	出席者	74名
欠席者	16名	ご来客	0名
ご来賓	1名	ゲスト	1名
		計	76名

4週前の例会2025年2月27日・木曜日
出席率 100%



❏ 山縣次年度幹事

次年度の会員名簿作成のため、BOXに会員
名簿等確認のお願いを入れておりますので、ご
確認の上、事務局まで提出をお願いします。

- ❏ 会報雑誌・広報委員会 長谷川（剛）委員長
本日配布の会報誌（2631号）3pに二次元
コードを載せています。「創立55周年記念式典
と祝賀会」の動画が入っています。ぜひご覧く
ださい。



● 同好会報告

❏ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会 3月例会を3月27日（木）18時より、立
町の麻雀マックで開催いたしました。この日も、
鰻の成瀬のうなぎ弁当を食べながらの同好会活

動となりました。

この日の絶好調は私 鈴木で、前半戦3回の
半チャンで3回ともトップを取る、今までにな
いツキで、そのまま後半戦も逃げ切り優勝とな
りました。準優勝はオーラスの半チャンでねば
り、3位からの逆転麻雀をされた笹野君、3位
は安定した麻雀をされた三浦さんとなりました。

次回例会は4月17日（木）、いつもの麻雀マック
での開催となります。メンバーの皆様、日程調
整をよろしくお願いいたします。

● 会員記念日

🌸 4月お誕生日おめでとうございます。

（6名）

斉藤君	南條君	平原君
八條君	西原君	笹野君



● スマイルボックス SAA 古屋君

👤 大植君（自主申告・金一封）

先月末をもって、広島弁護士会の会長を退任
しました。皆様のご支援のお陰で、何とか、大
きな不祥事を起こすことなく、無事、任期を全
うすることができました。

来年3月末までは、中国地方弁護士会連合会
の理事長を務めなければなりません、会長
ほどは忙しくないで、今年度は、例会には9
割くらいリアル出席できると思います。

私自身、この1年間で、人間として大きく成
長し、より「ビッグ」になって帰って来られた
と勝手に自負しております。また皆さんと一緒
に活動できることをとても嬉しく思います。

👤 古屋君（自主申告・金一封）

昨日、スマイル情報を上野（彰）委員長に伝
えようと電話したところ、間違って上野 純一
さんに電話し用件を伝えてすぐ切ってしまいま
した。幸い間違えたのが2回目だったので、内
容を理解した石亭の上野さんから委員長に電
話していただき、その旨をメールいただきま

した。

自分ではまだまだだと思っていましたが、ますますせっかちになったことと合わせ、どうやら認知症の初期段階かなと自覚しました。認知症の自己診断が正しいかどうかは別として、自覚したことを記念して今後の社会生活に活かすとともに、スマンボックスではなくスマイルに金一封出宝いたします。

玉木君、新沢君（自主申告）

「日本産商株式会社」と「株式会社NIIZAWA」は、新たに海外販路拡大等に挑戦する県内中小企業を後押しする補助金事業「広島県アニマル・スピリッツをもつ企業の海外展開挑戦支援事業」に応募しました。事業の新規性、技術の評価、費用対効果、波及効果、実現の可能性等を審査された結果、このたび、採択企業40社に入ることができました。

「株式会社NIIZAWA」のプロジェクト名は『日本式整備、板金塗装をベトナムに継承する!』『日本産商株式会社』のプロジェクト名は『ベトナムでの日本製工作機械の普及と販売拡大への挑戦!』です。県税から拠出された補助金を有効活用させていただき、広島県に恩返しができるよう鋭意努力してまいります。

部谷君 中国新聞 4月2日号より

広島銀行はセブン銀行のATMで、広島銀行の口座を開設できるサービスを始めたそうです。マイナンバーなどで本人確認をするセブン銀行のATMを、口座開設に利用する銀行は全国で初めて。休日や夜間でも申し込める点を売りに、顧客を開拓するとのことでした。

中川君 中国新聞 4月2日号より

広島ガスは廿日市市大野でバイオマス発電所を建設されるそうです。単独での整備は初めてで、2026年に営業運転を開始し、出力は1990kwで、燃料は全て国産木材の端材を利用、年間発電量は一般家庭約3,200世帯が1年間に使う電力量に相当します。「再エネの普及拡大を通じて、カーボンニュートラルに貢献し、国産端材の利用で森林保全にもつなげたい」とのことです。

また、本日の中国新聞によると北海道の杜有地に小型風力発電風車を8基建設されるそうです。再エネ電源の拡大と家庭向け電力小売り

を強化し、関東にも販路を広げられるとのこと
です。

紫雀会 3月例会の優秀賞の方々

優勝者 鈴木君はダブルで、2位の笹野君も出宝をお願いいたします。3位はオブザーバー参加の三浦さんでした。

皆様、おめでとうございます！

卓 話



紛争地帯と 広島の架け橋

ジュノー博士から教えられたこと

NPO 法人モースト
理事長 津谷 静子氏

こころの薬こそ、幸せに生きるために必要な薬。

【最初の年は挫折の連続】

「何だか虚しくなって、あのときは本当にやめようと思って」医師である夫がロシアへ医療視察に行ったことをきっかけに始めた海外医療支援。1994年にロシア語で「架け橋」を意味するモーストにあやかり「モーストの会」を立ち上げた。現在、津谷 静子はNPO法人の理事長を務める。ロシア・サンクトペテルブルクでの健康診断に始まり、ボルゴグラード、ウクライナ・キエフなどの小児病院や医療施設を訪問し、医薬品を届けた。しかし、支援を続ける度にやることへのギャップに遭遇する。健康診断を行えば、病気が見つかったも物資不足で治療薬が手に入らないからと診断を拒否された。薬を届けたボルゴグラードでは、欲しいのは注射針だと言われた。「自分では良かれと思って、相手にとって必ずしもそれは本当にやってほしいことでなくて。空回りばかり」それでも続けられたのは、経験がなかったから。自分なりに試行錯誤しながら、やり方を変えて続けた。忘れられないのはイングーシ・チェチェンを訪問した時のこと。「『薬はありがたいけれど、戦争で心を閉ざしてしまったあの少女を何とかしてくれないか』と言われて、もう自分が出る幕じゃないな」と、無力さに打ちひしがれ、なす術もなく、ただ他の支援団体の荷物運びを手伝うのみ。医療支援活動を始めて10年経った2004年。津谷は「もうやめよう」と決心した。

【広島で毒ガス被害者の変化を目の当たりにして】

ところが転機が訪れる。2004年、広島原爆投下から60周年プロジェクト「広島世界平和ミッション」のメンバーに選出され、南アフリカ、イランへの視察訪問を任された。前年から始めたパレスチナ・ガザ地区への小児喘息医薬品の支援が評価された結果だ。初めて訪れたイランで津谷は毒ガス爆弾の被害者の存在を知った。そして、ひとりの被害者の言葉が胸に残った。「ヒロシマのことは世界が知っている。でも、私たち毒ガス爆弾の被害者のことを知らないだろう？ヒロシマから世界に知らせてもらえないか」津谷はそのとき逆のことを思った。「もし広島の前爆のことが世界に知られていなかったら——『世界の平和』なんて、声を上げているだろうか。そんなはずはない。きっと恨みばかり」知ってもらふこと、わかっ得てもらうことがどんなに生き甲斐になることか。早速、津谷はその年の8月6日、原爆記念日の平和記念式典にイランの毒ガス被害者を招待した。世界への架け橋となるためだ。しかし、来日した一行の表情は固い。挙げ句に「アメリカが憎い。私たちは血の一滴まで戦う覚悟はできている」と言う。これには閉口してしまった。ところが、滞在中、一行と行動をともにするうちに、彼らの変化を目の当たりにする。「ここにはアメリカ人も、日本人もいる。自分たちもただ恨んでいるだけでは駄目だ。被害に遭ったからこそ、自分にできることをやるべきだ」泣きながらそう話す彼らに、津谷自身が気づかされた。「薬には、“からだの薬”と“こころの薬”の2つがある。こころの薬こそ、明日死ぬかもしれない人を幸せにする薬」初めて自分の支援活動の挫折の意味がわかった。「自分にはこころの薬がなかった」

【経験ゼロで手掛けたアニメへの想い】

こころに目が向くようになって、ふと、スイス人医師のジュノー博士のことを思った。1982年に広島に嫁いで来てから事あるごとに夫から“広島の人”と聞かされていた。おまけに平和記念公

園にあるジュノーの記念碑の字は夫の父が書いたものである。ある日、ジュノーの日記「ドクタージュノーの戦い」を読み直してみた。赤十字国際委員会の派遣員として、被爆後の広島に15トンの医薬品を運んだジュノーの、人種・国境・宗教を超えた人間愛。それはモーストの会の活動理念でもある。「心に響いてしょうがなかった。ジュノーの生涯は雲の上の偉人の伝記ではない。私の人生として捉えることができる。どんな世代の人も、彼の人生を知ること、幸せな人生を送ることができるはず」何とかして伝えたい。津谷は大胆にも経験もないアニメ制作を思いつく。何とか資金とメンバーを集め、制作にとりかかるが、2年で頓挫。「だけど、今度はやめようとは思わなかった」うまく行かないけれど、やることの方が大きい。カタチにすれば、伝わる。伝われば、誰かも、自分も変わることができる。シナリオライター他、制作メンバーをすべて入れ替え、ゼロからまたストーリーを紡いでいった。そして2010年、足掛け5年の年月を経て、アニメ「ジュノー」は完成した。

【自分を通して、何かが変わってゆく】

東京・恵比寿での上映には皇后陛下が観に来られた。昨年夏にはNHK・Eテレで放映された。秋にはヨーロッパのアニメフィルムフェスティバル「BALKANIMA」で特別賞を受賞。「自分を通して、不思議な何かが起こり、変わっていく。ただ驚くばかりで」。昨春からは母校の昭和大学の富士吉田キャンパスでも1年次のオリエンテーションの一環として上映されている。結婚して医療の世界とは縁遠かった自分が、ひとつの作品を通じて、母校との距離がまた縮まったことを素直に喜ぶ。「最初の10年で結果が出ていたら、満足してしまって何も得ることができなかったかもしれません」。今なら挫折も宝物だと思える。「人生というのは願わない不幸をどう捉えるかで、起こることが変わる。広島も、イランの被害者もそうですが、他でもない、私が一番変わることができました」。

広島西RC 検索

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 前橋 寛
幹 事 鈴木 義尚

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会